

2019 年度コラボミュージアム作品づくりコンテスト

小学校・中学校部門 アピールシート

令和2年 1月 20日

所属名 : 香川県 まんのう町立高篠小学校
実践学年組: 6年 西組(平成30年度勤務校)
氏名: 竹内 泰大

教科	学級活動から道徳につなぐ
実践期間	平成31年1月24日 ~平成31年2月1日
実践タイトル (35文字以内) 学級日誌による遠隔地からの学級指導 (学級経営)	
実践の目的 学級担任が出張で1週間学級を不在にした際の、児童を中心とした学級自治の安定と、児童の自律心や自浄力の向上。	
実践のポイント・工夫 「学級日誌」のテンプレートを活用して、児童と遠隔地に出張中の担任が相互に書き込み、学級の様子を伝えたり児童の行動を称賛して価値付けたりする。それにより、児童に規範的な行動や自律した行動の大切さに気付かせて、担任不在時における学級力を高める考え方や活動を促すことを狙った。	
実践内容 (簡単に) 日直の児童が1単位時間毎に、各教科で学習したことや感想を書き込む。感想欄には、学習の内容や態度に関することを書かせた。また、1日の最後には、その日全体の感想や頑張っていた友だちの様子を写真と共に紹介させた。一方で担任は、称賛の言葉を適宜書き込んだり、1日を通した子どもたちへの思いや生活に関わる指導事項を記入したりした。 日直は、朝の会や帰りの会、休み時間や給食の時間等を活用して、「学級日誌」を大型テレビやプロジェクタでミラーリングして内容を紹介した。	
(コラボノートを) 使用してよかった点を教えてください。 香川県と茨城県という離れた地にながら、学級の児童と担任が会話をすることができるようやり取りをすることができた。児童は、担任と互いに書き込んだ内容を学級全員で読むことで、自分たちのよいところに気付いたり、成長を実感することができたりした。	
自由記述欄 コラボノートの学級日誌を活用して連絡を取り合うことで、普段は不安の多い出張が、児童の成長や学級経営の向上につながる効果をもたらした。この時間を経験したことで、道徳や学級活動での友情や自律、愛校心等に関する考え方がこれまでよりも深いものとなり、卒業まで成長し続ける児童の姿が見られた。	